

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	データベース	科目名	SQL I				科目コード	T1310B2			
配当期	前期・後期・通年	授業実施形態	通常・集中				単位数	2単位			
担当教員名	辻本佳紀		履修グループ	2G(GP/SP)			授業方法	演習			
実務経験の内容	某銀行にて、システム開発および運用業務を3年間行った。その経験を活かし、データベース言語であるSQLの文法について、実習を交えながら講義する。										
学習一般目標	IT市場においてはシステム構築、運用、管理において管理性、拡張性、コスト効率がより求められ、その需要に対応するのが「Oracle Database 12c」です。3つの特徴である、リソースの有効活用、自動管理機能による管理・運用の効率化、柔軟性と拡張性を備えた総合管理ツールである同製品の技術者を育成し、客観的な指標として信頼されているOracle Masterの資格「Bronze」を取得する。										
授業の概要および学習上の助言	「Oracle Master Bronze Oracle Database 12c」資格試験の2科目中の1科目目「Bronze SQL 基礎」試験に対応した科目です。基本的なSQL SELECT文の作成、INやLIKEなどの演算子を利用したデータの検索条件を定義、各種関数でデータを加工、複数の表の結合や副問い合わせ、データ操作、オブジェクトの作成および管理について学びます。各章ごとにある実習問題を通してSQL文を習得してください。										
教科書および参考書	ORACLE MASTER Oracle Database 12c Bronze 12C SQL 基礎 (ソフトバンククリエイティブ)										
履修に必要な予備知識や技能											
使用機器	パソコン機器										
使用ソフト	Oracle										
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標									
	1	データベースの基本的な概念を理解し、説明できる									
	1・2	SQL文を使用したデータベースの操作ができる									
	5	講義と実習に意欲をもって取り込むことができる									
達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォ リオ	その他	合計		
	総合評価割合	60			30			10	100		
	学部 D P	1.知識・理解	30			30				60	
		2.思考・判断	30							30	
		3.態度									
		4.技能・表現									
5.関心・意欲							10	10			

	評価方法	評価の実施方法と注意点
評価の要点	試験	定期試験期間中にペーパー試験を実施します。(持ち込み有り) SQLの穴埋め、SQL文の実行結果などを問う。 60点
	クイズ 小テスト	
	レポート	
	成果発表 (口頭・実技)	各章ごとに実習(1~5)を出題します。 30点(オプション問題はプラスα加点をします)
	作品	
	ポートフォリオ	
	その他	出席回数、態度など総合的に判断します。 10点

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 /	1章～2章 リレーショナルデータベースと SQL SELECT 文を使用したデータの取得	講義・実習	
第2週 /	2章 SELECT 文を使用したデータの取得	講義・実習	実習1
第3週 /	3章 データの制限およびソート (WHERE 句)	講義・実習	
第4週 /	3章 データの制限およびソート (WHERE 句、ORDER BY 句)	講義・実習	実習2
第5週 /	4章 単一行関数 (数値関数、文字関数)	講義・実習	実習3
第6週 /	4章 単一行関数 (日付関数)	講義・実習	実習3
第7週 /	4章演習	講義・実習	実習4
第8週 /	5章 変換関数・汎用関数と条件式の指定 (変換関数)	講義・実習	実習4
第9週 /	5章 変換関数・汎用関数と条件式の指定 (汎用関数)	講義・実習	実習4
第10週 /	5章 変換関数・汎用関数と条件式の指定 (条件式)	講義・実習	実習4
第11週 /	6章 グループ関数とデータの集計 (グループ関数)	講義・実習	確認テスト
第12週 /	6章 グループ関数とデータの集計 (GROUP BY 句)	講義・実習	実習5
第13週 /	6章 グループ関数とデータの集計 (HAVING 句)	講義・実習	実習5
第14週 /		講義・実習	実習5